

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年12月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104365
法人名	有限会社 ベストケアライフ
事業所名	グループホーム かわかみ
所在地	鹿児島県鹿児島市川上町1854番地1 (電話) (099)243-7735
自己評価作成日	平成28年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年12月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者の方々が、明るく楽しく生活できるように支援している
- ・毎日のレクリエーションを行い、ドライブ、外食なども行っている
- ・入居者に合わせた庭の散歩などを行っている

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は町内会に開設時から加入し、地域行事の清掃活動や総会等に参加している。保育園児の来訪や小中学生のサマーボランティア・中学生の職場体験学習・地域ボランティア等の受け入れを行い、地域との交流を積極的にしている。
- ・リビングルームや居室は掃き出し窓となっており、中庭に直接出ることができ避難経路となっている。広い中庭は利用者が日常の散歩・日光浴で自由に利用している。
- ・日常的に庭での散歩を好きな時にしている。その日の状態で身近な場所へ短時間のドライブをしたり、外食や近隣の店にお茶のみを少人数で実施している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・毎朝、理念を声に出して確認をしている	理念は玄関や事務所に掲示し、毎朝、合同の朝礼で唱和し、ユニット毎のケア検討会で理念に沿ったケアを実践している。理念を具体化したサブ理念もあり、勉強会や職員会議で振り返り、ケアについて話し合いを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域の行事への参加や保育園からの訪問などの交流をしている	町内会に加入し、総会や清掃活動・防災訓練などに参加したりホームの中庭で、保育園児のみこしや祭りの棒踊りの披露などがあり交流している。中学生の職場体験学習やサマーボランティア・生き生き高齢者・見守りメイトの受け入れなど、地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・地域の方にホームのことを理解していただくようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・1年間の任期制の委員を置かず、開催都度家族へ召集をかけている。入居者の入れ替わりに伴い、家族の事情もあり面会以外の負担も大きくなるようで、参加者の少ない回もある。</p>	<p>会議は定期的開催している。前回の議事録内容の承認やホームの活動報告・利用者の状況などを報告している。消防分遣隊参加の折に簡易型道具作成の講習が有り、倉庫に準備したり、救命救急講習会をしてもらい、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>・市の介護相談員の受け入れや中学生の職場体験、サマーボランティアの受け入れなどを通して協力をしている</p>	<p>市及び支所の窓口に出向いたり電話で相談し、現状を積極的に伝えながら連絡を密に取り、協力関係を築いている。市主催の研修会にも参加している。市の介護相談員も受け入れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・研修、勉強会などを行い、身体拘束のないようなケアを目指している</p>	<p>毎月の職員会議や日々の状況に応じて勉強会を設けている。身体拘束について知識を深め身体拘束のないケアに取り組んでいる。言葉による拘束については事例を示し理解をしてケアに関わるようにしている。ユニット間は自由に往来でき、玄関も基本的に施錠しておらず職員が目配りして、外に出て行く利用者には職員が付き添って散歩等をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・職員会議や勉強会などで話し合いを行い、虐待のないように心掛けている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・勉強会、研修等で学んでいきたい</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・分からない事や不安な点を確認しながら、家族説明を行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・運営推進会議や家族会に参加をお願いし、意見を出し合ってもらっている</p>	<p>利用者からは職員が会話の中で要望等を聞いたり、介護相談員との面談の機会も設けている。家族は家族会や運営推進会議・行事参加の折・面会時に職員の方から近況報告等について説明し家族の要望を聞いている。ホームだよりで活動状況や利用者の生活状況を報告し、電話連絡で意見や要望など言える機会も設けて、要望を運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・職員会議やユニット会議などで話し合いを行い、意見を出し合っている</p>	<p>月1回の職員会議や日々のケア時などに声かけし意見を聞いている。職員会議でスタッフだけで自由に意見を言える時間を設けたり、ユニットリーダーを中心に意見を話し合い、働きやすい環境づくりに努めている。管理者は個人面談を必要時にしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・職員の希望に可能な限り添えるよう調整を行っている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・施設外での研修に参加し、後日職員会議の場で発表をしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・情報を収集しながら参考にしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・病院など家族の要望を受け、本人と家族が安心できるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・家族の要望に耳を傾け、出来る限り努力をしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人家族の要望を聞いて本人に合った支援を見極めサービスに努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・洗濯物をたたんだり食器を拭いたりをともに行い、出来ない事は支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・催し物等の際には一緒に過ごしていただけるよう働き掛け、本人のために家族に協力してほしいことがある場合は相談できる関係を築いている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・手紙や電話などの交流も必要に応じて支援している</p>	<p>友人・知人・親戚の面会は、居室やリビングルームでゆっくり話してもらっている。家族の協力で美容院や墓参り・買い物などに出かけ関係継続の支援を行っている。携帯電話や手紙等での交流も行い関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>・食事やレクリエーションを一緒に行うことで、入居者同士のコミュニケーションを図るよう努めている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>・要望があればいつでも相談に乗れるように努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人の希望の把握に努め、思いを表現できない方には本人本位の視点に立って支援している	日常の会話の中で本人の思いや希望を把握している。意思疎通が困難な場合は、表情や仕草・生活パターン等から本人の思いを汲み取っている。家族の面会時などに意見を聞き、本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人との雑談や繰り返し話をする事で今までの情報を知るように努力している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・朝のバイタルの状態を申し送り、それを入浴や遊学の参加などに検討している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・職員会議やユニット会議で意見を出し合い、検討している	本人や家族の思いや要望等を基に、職員会議やユニット会議で検討して介護計画を作成している。モニタリングを毎月1回実施し、6ヶ月毎及び状況変化時等に計画の見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々の様子や気付きは個別に介護記録に記録しており、申し送りにて情報を共有して、ケアの実践や介護計画に見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・その時々状況に合わせて、要望に応じて支援している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域の保育園の訪問や、サマーボランティア、見守りメイトの受け入れも行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・できるだけ本人及び家族の希望に沿ったかかりつけ医を継続している	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。かかりつけ医の訪問診療が月1~2回あり、緊急時にはかかりつけ医の指示を受けて対応し、適切な医療を受けられるよう支援している。定期的受診は家族同伴であるが職員が同伴することもある。協力医療機関とは24時間医療連携体制が整っている。訪問診療の結果や状態の変化時など家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・体調などの変化に気付いたら相談してアドバイスをもらい、必要であれば受診等もできるようにしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・家族とも連絡を取り、本人の状態などにより早めに対応している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・本人や家族の思いを確認し、どこまで対応できるか話し合ったうえで、可能な限り対応できるようにしている</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について説明している。看取り希望があれば家族の意向を確認しながら主治医の協力を得て支援している。看取りの事例もある。今後、職員の研修を実施する計画である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・勉強会を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・年2回以上の防災訓練をしているが、今年度は職員を小グループに分けての訓練を実施した。それぞれが発言しやすい形式であり、細かな点まで検討しやすい機会となった</p>	<p>年2回防災訓練のうち1回は消防署立会で行い、夜間想定での訓練をしている。自主訓練は2回に分けて個々に合わせた避難誘導の流れなど確認している。非常食として米や水・レトルト食品を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・一人ひとりの性格やその時の状況に合わせ、対応できるようにしている	職員会議や勉強会等で、一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保について研修を実施している。利用者を苗字で呼んでいる。特にトイレ誘導や失禁時はその人の人格を尊重した言葉かけを行い、さり気ない声かけ等を心がけている。入室の際はノックを行い声かけしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・ホームの中での散歩や一緒に歌をうたっている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ある程度決められた時間の中で、その時の本人の状況によっては時間をずらしたり日を変えたりして、一人ひとりのペースを大事にしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・定期的に訪問理容に来てもらい、カットや髪染めをしてもらっている。希望の理容室へ出かける事もある		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・できる片付けをお願いしたり、日曜日のレクリエーションにてお菓子作りをしたりしている	入居時にアレルギーの有無や嗜好調査を行い、職員が献立作成をしている。利用者の持てる力を活かし、もやしなどの下ごしらえや食後の茶碗洗いなど職員と一緒にしている。個々に応じた食事形態や代替品を準備し、行事食や誕生日などは好きなものを提供し、外食等で食べる楽しみにも配慮して取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・毎日の体調や変化について確認し、食事量や水分量を検討して体調の管理に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・食事前の嚥下体操を行い、食後の口腔ケアもできる方へは自分でしてもらい、支援の必要な方には介助をして清潔保持に努めている。合わせて訪問し会による無料検診も実施している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・一人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛けや誘導するなどして、トイレで排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンから、さりげなく声かけしてトイレ誘導している。リハビリパンツとパット使用が大半で夜間のみオムツ使用者がいる。トイレでの排泄に向け声かけを行い支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分補給や野菜を取り入れた食事、軽い体操を行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・曜日と時間はある程度決められているが、本人に確認し、状況に合わせて入浴できるようにしている	入浴は基本的に週3回、午前と午後であるが、本人の希望に応じて時間調整をしている。週2回の不定の利用者もいる。拒否がある場合は無理強いしないで、タイミングを見て声かけを行い、入浴後に楽しみを作ったりしている。女性の利用者は同性介助を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・それぞれのペースに合わせ、また個々の希望に応じて支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・職員が何度も確認し、服薬の際には野見込みまで確認している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>・みんなで楽しめること（歌やカルタ、しりとり、散歩など）を行っている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>・重度化が進んでいるために思うように外出ができなくなってきた。身近な場所へドライブ、お茶飲み、食事へ出かけている</p>	<p>日常的に庭での散歩を好きな時にしている。その日の状態で身近な場所へ短時間のドライブをしたり、外食や近隣の店にお茶のみを少人数で実施している。年間計画もある。家族と墓参りや外食・外泊をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・要望に応じて職員が代行している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・個々に応じて対応し、はがきや手紙を書かれている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・毎日掃除を行って清潔であるように注意し、季節の飾り物をしたり明るい空間になるように工夫をしている</p>	<p>共用空間は天井が高く、中庭に面して明るく、室温や湿度に配慮している。テーブルやソファが配置され、掃き出し窓からテラスや中庭に自由に入出りできる。対面キッチンのカウンターは利用者も一緒に作業し易いよう低く作られている。クリスマスツリーや習字などの作品が飾られ、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・ソファの位置や向きなどを工夫し、お互いが過ごしやすい空間になるようにしている</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・馴染みの音楽を聞いたりアルバムや本を観たりしながら過ごせるように工夫をしている</p>	<p>居室にはベッド・タンス・クローゼット・洗面台が備えてあり、トイレ設置の居室もある。利用者の好みで自宅から寝具類や思い出の写真・作品・テレビ・机・椅子を持ち込んだりして、自分らしく過ごせるよう工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・名前や手すりなどを付け、誰でも分かりやすいように個々に応じて対応している</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない